

## れいほく遊休農地発生防止・解消活動

農委会名：苓北町農業委員会

### 1 地域の概要

本町は、熊本県の南西部に点在する天草諸島のうち、最も大きな島である天草下島の北西端に位置し、特産のレタス・果樹・畜産を主体としている。

しかし、人口は6,500人を切り認定農業者も高齢化により年々減少傾向にあり、併せて、農業就業者の高齢化や担い手不足など様々な課題に直面している。今後は、地域の实情に合わせた担い手の育成・確保を図り、遊休農地の発生防止、解消に取り組んでいく必要がある。

### 2 農業委員会の体制

- (1) 農業委員数 7人（うち、認定4人、女性2人）
- (2) 推進委員数 8人（うち、認定5人）
- (3) 事務局体制 3人（兼任）

### 3 掲げた目標

農業委員会で遊休農地を解消し景観美化活動に取り組む。 約20a



【解消前】



【解消後】

### 4 目標達成に向けた取組み（運動）の内容

国道及び町道沿線の遊休農地を借り受け、コスモスを植え付け、景観美化活動（令和元年度から取り組みを開始）として看板を設置した。

6月初旬から除草作業・耕起を行い、7月下旬に農業委員・推進委員15名、地元3保育園の園児26名とでコスモスの種まきを行った。

園児たちは自分たちで種を播いたことで、保育園のバスで側を通るたびに花の成長を観察し、咲くのを心待ちにしていたようで、農業に触れ、関心を持つきっかけとなった。

10月下旬には各地区において農業委員・推進委員、地元4保育園の園児40名で花の摘み取りを行った。園児たちは背丈ほどのコスモス畑に入り、花の摘み取りを楽しんでいた。



【除草作業】



【種まき】



【コスモス】



【花摘み】

## 5 取組みの成果

遊休農地を解消し景観美化活動を実施。 解消農地 約20a

委員自らが遊休農地の解消と景観整備を行った結果、地域の方々も花摘みをされるなど喜ばれ、農業委員会活動をアピールできた。



【子供達と一緒に記念撮影】



## 6 課題と今後の方針等

コロナ禍において、地域計画の策定に向けた地域の話合いが思うように進んでいない状況ではあるが、山間部に存在する再生困難な農地については非農地への移行を推進し、後継者のいない優良農地については担い手への集積を基本として、農地中間管理機構と連携をとりながら集積・集約化を推進し、今後も委員全員で遊休農地の解消、防止に向けた活動に取り組んで行く。